

★審美歯科・ホワイトニング

審美歯科って何だろう？



「口をあけると銀歯が目立ってしまうから、思い切って笑えない」

「歯の汚れや色が気になって、自信が持てない」

そういったお悩みや願いを解決するのが審美歯科治療です。

歯の白さや、歯並びなどの美しさに焦点をあてた総合的な歯科治療を行うため、一般歯科とは目指す治療目的が少し違うかもしれませんが、**清潔で美しい歯並びは、見た目だけではなくお口の健康にもいい効果をもたらします。**

歯はおいしく食べられる機能を持つ器官であるとともに、人の外見や顔の印象を左右する要素も持ち合わせています。その両方に焦点をあてて、患者さんの希望を取り入れ、その人に合うよう、歯並びや色を整え、口元の健康と健康美を求めていこうというのが、私たちの考える審美歯科治療です。

審美歯科の種類

審美歯科では大きくわけて、「**歯を薬剤で漂白するホワイトニング**」と、「**詰め物や被せ物である人工歯**」の2種類の治療を主に行っています。人工歯には素材も種類もさまざまなものがあり、患者さんの歯の状態や好み、ご予算に合わせて使用します。また、保険外の治療については5年間無料保障がついております。

このページでは、当院の審美歯科がご用意した、美しい笑顔と健康的な口元のためのメニューについてご紹介します。

白く美しい詰め物・被せ物

当院では、保険適用内外問わず、さまざまな素材の被せ物を取り揃えています。患者さんのお好みやご予算に応じて、一番良いと思われる素材をおすすめしています。

オールセラミック

自然な色を表現しやすく審美性に優れているため前歯の治療によく使われます。すべてがセラミック(陶器)で作られているので、金属アレルギーをお持ちの方でも安心して使用することができます。なお、歯ぎしりや噛み合わせが不自然な方がお求めになる場合は歯科医師とご相談ください。



ハイブリットセラミックス

こちらも、自然な色を表現しやすい素材ですが、セラミックにプラスチックを混ぜ合わせて焼き固められているため、オールセラミックに比べ、若干経年による変色が見られる場合があります。金属アレルギーの方でも問題なく使用できます。なお、歯ぎしりや噛み合わせが不自然な方がお求めになる場合は歯科医師とご相談ください。



金合金

銀歯に比べて、金の含有量がおおい被せ物です。自然の歯と硬さが近いので噛み合わせる相手の歯にもやさしく、奥歯の治療によく使われます。また、銀歯に比べると多少、金属アレルギーになりにくい素材となっています。



銀歯

審美性には欠けますが、保険適用内で使用できます。日常使いにおいて何ら支障はありません。



ホワイトニングで輝くような白い歯に

ホワイトニング治療は食物・損傷・薬物・加齢等が原因で着色され、白さが失われてしまった自分の歯を削ったりすることなく、元の白い輝きを取り戻す治療法です。歯の色素沈着の要因はさまざまですが、下記のような患者さんにホワイトニング治療はとても効果的といえます。

ホワイトニング治療で効果が期待できる方

●加齢による黄ばみ

年齢を重ねるとともに、歯の表面を覆っている透明のエナメル質が磨耗し、その下の層にある黄色の象牙質の厚みが増してくることによる歯の変色。歯の色調が黄褐色に濃くなってきた方。

●生活習慣による黄ばみのある方

コーヒー・お茶・カレー・醤油・タバコ等、着色性の強い飲食物を長年摂取することによる黄ばみ。クリーニングでは落とし切れない歯の汚れのある方。

●遺伝による黄ばみ

生まれつき、歯の色が黄味がかっているかた。遺伝的に歯の色が黄色っぽい方。

【ホームホワイトニング】ご自宅できるホワイトニング

低濃度のジェルを使用して歯面を漂白します。患者さんの歯並びに合わせたカスタムトレーを作成し、ジェル材を注入して歯全体にトレーを装着します。何度かに分けることで、持続的にホワイトニングを行っていきます。



審美歯科の症例

前歯

術前



歯肉の黒っぽさが気になります
歯肉と歯の境目の黒い部分が見えています
内部の金属の影響でこのようなことがおきます

術後



金属を使わない治療では金属による審美障害、アレルギーの心配が少なくなります

術前



治療した歯だけ違って見えませんか？

術後



自然な歯と調和した治療が理想です

奥歯

術前



金属の治療は審美的ではありません、大きな口を開けて笑うことも気になります
金属アレルギーの心配もあります

術後



金属を使わない治療では金属による審美障害、アレルギーの心配が少なくなります

術前



治療した歯だけ違って見えませんか？



自然な歯と調和した治療が理想です